

私たちも、 エコ安全ドライブ はじめました!

地球にやさしい運転は、
人にもやさしい安全運転につながります。

3つのポイント※を心がけ、
エコ安全ドライブをはじめてみませんか？

※日本損害保険協会では、エコドライブ普及連絡会(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)が定めた「エコドライブ10のすすめ」のうち交通安全に関係の深い3項目を特に「エコ安全ドライブ3か条」として、その普及に取り組んでいます。

1 発進

ふんわりアクセル
「eスタート」

2 走行

車間距離にゆとりを
もって、加速・減速の
少ない運転

3 減速

減速時は早めに
アクセルを離そう



1 発進するときは、緩やかにアクセルを踏んで発進しましょう。

- 発進して5秒で時速20kmに達するぐらいを目安にするだけで、燃費が10%程度改善します。
- 緩やかな発進を心がけるだけで、歩行者や前車の動きなど周りの状況をしっかり確認する余裕が生まれます。

燃費改善 約**10%**

2 走行中は、一定の速度で走ることを心がけましょう。

- 車間距離を保つことで、無駄な加速・減速が少なくなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度、燃費が改善します。
- 交通状況に応じた速度変化の少ない運転は、安全運転につながります。**適切な車間距離をとる**ことで、追突事故の防止にもなります。

燃費改善 約**2~6%**

3 停止するときは、早めにアクセルから足を離しましょう。

- 早めにアクセルから足を離すと燃料の供給が停止されるので、燃費が2%程度改善します。
- 早めにアクセルから足を離すと速度の低下も早まり、とっさの対応も取りやすくなります。

燃費改善 約**2%**

※燃費改善効果は、いずれもエコドライブ普及連絡会が定めた「エコドライブ10のすすめ」による。



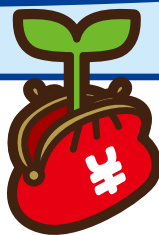
エコ安全ドライブをはじめたら…



地球にも やさしかった!

エコ安全ドライブは大気汚染や地球温暖化の防止に大きく貢献します。1台あたり年間で**約80本の杉の木を植樹したのと同じ効果***を得られるほどのCO2を削減することができるという結果が出ています。

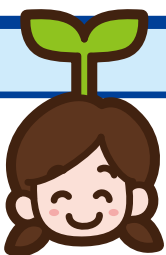
※独立行政法人環境再生保全機構「平成22年度エコドライブコンテスト エコドライブ活動実践事例集」における1台あたりのCO2削減量1,099kg-CO2に基づき、樹齢50年の杉の木1本当たり、平均14kgのCO2を吸収するものとして計算した。



お財布にも やさしかった!

エコ安全ドライブを行うことで**燃費を平均15.9%も改善***することができます。例えば、ガソリン価格が150円/Lで毎月100Lを給油しているとすれば、年に換算すると**28,620円もの経費節減**となります。

※燃費改善効果は、独立行政法人環境再生保全機構「平成22年度エコドライブコンテスト エコドライブ活動実践事例集」による。



人にも やさしかった!

エコ安全ドライブの実践により**交通事故が32.7%も減った**という結果*1が出ています。「ゆっくり発進・ゆっくり停止」*2を心がけることで運転にゆとりが生まれ、**交通事故の防止に役立ちます**。

※1 交通事故低減効果は、独立行政法人環境再生保全機構「平成22年度エコドライブコンテスト エコドライブ活動実践事例集」による。

※2 「ゆっくり発進・ゆっくり停止」は、経済産業省資源エネルギー庁作成の「エコドライブ推進マニュアル」による。

今日からあなたも
はじめませんか?
エコ安全ドライブ!



(参考)エコドライブ10のすすめ

「エコドライブ10のすすめ」では、損保協会が取り組む3か条のほか、以下の7項目の取り組みを推進しています。詳しくはエコドライブ普及推進協議会のホームページ(<http://www.ecodrive.jp/>)でご確認ください。

- エアコンの使用は適切に
- 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- 不要な荷物はおろそう
- 自分の燃費を把握しよう
- ムダなアイドリングはやめよう
- タイヤの空気圧から始める点検・整備
- 走行の妨げとなる駐車はやめよう